

小さき兄弟会

貧しく、より小さい者たち

今のわたしたちの場合は？

貧しくより小さい者としてわたしたちの生活を見
直すためのガイドライン

ROME 2016

目次

はじめに	4
前書き	6
このガイドライン（評価手段）使用にあたり注意すべき二つのこと：	8
この評価に用いる四つの項目	9
I. 「より小さき者」であること	10
II. 何も自分のものとししない/福音的清貧	14
III. 貧しい人々の中で貧しく	17
IV. 忠実かつ献身的に働く	20
二つの側面：意識度と実行度	23
実行度の評価	27

はじめに

「聖フランシスコの小さき花」の中に、フランシスコが素朴な農夫から深い教訓を引き出したことを物語るエピソードがあります。

「あのう、あなたはアシジの兄弟フランシスコですか？」フランシスコがそうだと答えると、その農夫はこう言いました：「では、皆が思っているような善良な方でいてください。たくさんの人があなたを信じているのですから。ですから、皆の期待を裏切らないようにしてください¹。

聖フランシスコの弟子である私たち小さき兄弟にとり、本物でいてほしいとのこの単純明快な呼びかけは、絶えず突き付けられた課題です。ベルゴリオ枢機卿がフランシスコという名前を選んだ時、本物の生き方をしようとの呼びかけが、私たちの努力の中心に向けられました。事実、教皇フランシスコはそのシンプルな生き方、話し方、教え方を通して、「フランシスカン」という用語に新鮮な注意を向けると同時に、特別な方向性をもたらしています。それは、物質的に貧しく、謙遜で、エコロジーに敏感で、生けるすべてのものとの一体感を中心とし、特に世界の貧しい人々に平和と正義をもたらすことに心を砕く生き方と同義語となっています。多くの人々が、私たちに「貧しく、より小さい者」であることを期待しています。私たちに突き付けられている新たな課題、それは、社会的にも、文化的にも、経済的にも、政治的にも隅に追いやられて暮らしている兄弟姉妹、つまり現代の「無力な人々」にできる限り自分を重ね合わせることです。彼らは、地球の気候変動のリスクを最大限に被っている人たちです。人間が環境に及ぼす深刻な影響を削減すべく、早急に断固たる行動をとらなかった国際社会の失態の最大の影響を受けるのは、彼らなのです。

この小冊子は、問いかけを行っています。単純さと連帯のうちに生きる生き方への約束（コミットメント）において、個人としてまた共同体として「今の私たちの場合は？」という問いかけです。生活は単純か、辺境に生きる兄弟姉妹に寄り添っているか、私たち一人ひとりの生活が世界で今起こっていることとどう関わっているかを、真剣に吟味し、自分の召命を新しい斬新な方法で受け止められるようになることを、この小冊子は求めています。

この資料の、他のフランシスカン文書や直近の総集会との関りについては、次の前書きの中で明確に示されています。この小冊子は実用的なツールです。世界中のすべての兄弟にこれからお示しする評価プロセスの中心となっているのは、私たちの価値

¹ First Consideration on the Stigmata

観とそれらを具体的に体現する生き方です。その目指すところは、自分はこのように者ですと言ったとおりに生き方を体現すべく、全身全霊で努めるように励ますことです。この生き方は、「神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になられた」²主イエスのご体験に根差しています。

この文書が私たちに注意を促している項目は 4 つあります。それは、「より小さき者であること」、「福音的な貧しさを生きること」、「貧しい人々とともに貧しくあること」、そして「忠実かつ献身的に働くこと」です。これらはいずれも、フランシスカンの福音的伝統に深く根差し、神との関係と、お互いの、そして世界との関係がテーマとなっています。教皇フランシスコの考え方も取り上げたいと思っています。たとえば：

「貧しい人々と地球の脆弱さとの間にある密接なかかわり、世界中のあらゆるものはつながっているという確信、テクノロジーに由来する勢力の新たなパラダイムと権力形態の批判、経済や進歩についての従来とは別の理解の方法を探ろうという呼びかけ、それぞれの被造物に固有な価値、エコロジーの人間的意味、率直で正直な討議の必要性、国際的な政策および地域的な政策が有する重大な責任、使い捨て文化、そして新たなライフスタイルについてです。」³

この小冊子の語り掛ける言葉に、個人の日々の生活の中で、またそれぞれの兄弟共同体の兄弟たちとともに、耳を傾け、思い巡らし、実行してくださるよう、兄弟の皆さまにお願いいたします。聖霊が私たちの心の中で働いてくださり、私たちを絶えざる回心の生活に導いてくださいますように。

2016 年 11 月 1 日

諸聖人の祝日に

総長にして僕である
兄弟マイケル・A・ペリー、OFM

² フィリピ 2:5-6。

³ ラウダート・シ 16。

前書き

2015 年の総集会のテーマは、「現代において兄弟であり、より小さい者であること」でした。祈りと評価と対話と識別をもって行われたこの兄弟的な会合の中で、私たちは兄弟であり、より小さい者であるようにと召し出されているとの念を深めたのでした。

サレジオ会の R・ミオン神父によって行われ、総集会前に完了した「本会の現状に関する調査報告書」——その後、総集会の議題準備文書（Lineamenta）と議案書（Instrumentum Laboris）にまとめられました——によると、本会には貧しい人々や高齢者や病人のために働く施設がたくさんあり、兄弟たちの 25 パーセントは、薬物依存症者やエイズ感染者、アルコール依存症の人たち、移民やホームレスのために働きたいと願っています。さらに、面談を受けた兄弟たちの大半がもっと質素な生活をしたいと言っていました。この調査は、兄弟たちの 64 パーセントが兄弟共同体のライフスタイルをあまりに世俗的だと認めており、初期養成中の生活は楽すぎると感じていることを浮き彫りにしました。とはいえ、貧しい人々や辺境に生きる人々の生活に直接関わっている兄弟の数は今のところまだ少ないということを、しっかり認識しなくてはなりません。

5 月 26 日に教皇フランシスコは私たちに謁見の機会を与えてくださり、兄弟としての召命に忠実に生きるように求められました。そして、「より小さくあることとは、神の完全なあわれみに信頼し、その御前にあつてこそ、小さくあり、また小さくあると感ずることです」と言われました。「より小さくあること」とはまた、組織を——組織それ自体は賢く使えば役に立つものですが——超え、これまでの習慣や安全性を超えて、真実の分かち合いと奉仕の精神をもって、現実には貧しい人々、助けを求めている人々、辺境に生きている人々との親密な関係へと出かけていくことです、とも言われました。最後に教皇は、こういわれました：

「・・・あなたがたは神の民の中で、『より小さくあること』『兄弟であること』『柔和であること』『謙遜であること』『貧しくあること』の正しさを、正統に相続しているからです。私は皆さんに願います。どうかこれらの遺産を守ってください！これらの遺産を失わないでください！神の民は、あなたがたが大好きなのです。皆さんを愛しているのです。あなたがたの道には、司牧者への愛情と称賛に加え、小さき兄弟たちに対するこうした良き人々の力強い励ましがあります。・・・」⁴

⁴ 2015 年 5 月 26 日（火）小さき兄弟会総集会の謁見時の教皇フランシスコの講話

総集会の総括文書（nos. 22-23）は、「彼は目が見えるようになり、なお道をゆくイエスに従っていった」というバルティマイの物語の最後の言葉を引用し、私たちもまた「イエスがそうであったように、自分を空しくし、謙遜な愛をもって、貧しく誰にも見向きもされない人々のもとへより近く寄り添っていく」ように呼ばれていると述べて、さらに「復活された主は辺境の人々の中にすでに生きておられる」との示唆に富む言葉を続けています。

この文脈の中で、決定事項8は作成されました：

総理事会は、各管区長、分管区長、およびすべての兄弟たちに、私たちが「貧しい者、より小さい者」として、いかにして誠実に、具体的に、真正に、貧しい人々とともにあって、生きていけるのかを示すガイドブックを準備する。このようにして、すべての兄弟共同体が、貧しい者と「ともに」、そして貧しい者の「只中に」連帯して存在する共同体となることを確かにするためである。

総理事会から出された最近の文書は、より小さくあること（minority）についてすでに深く掘り下げています：

- フランシスカン養成綱領。小さき兄弟会、ローマ 2003 年
- 現世においては旅人であり、寄留の身である：小さき兄弟会会憲第四章に基づく生涯養成のための資料。ローマ 2008 年
- フランシスカンの財務管理—総理事会による養成資料：透明性と連帯性のある倫理的な経済資源の活用法。ローマ 2014 年。

上記を前提とすると、この新たな資料の意図するところは、基本的なガイドラインを提供し、貧しくより小さき者としての私たちの生活を、あらゆるレベルで評価するのを助けることです。

この評価のためのガイドラインは、兄弟各人が修道院会議で使うことも、委員会や理事会が使うこともできますし、また管区や分管区のすべての兄弟が使うことができます。

このガイドライン（評価手段）使用にあたり注意すべき二つのこと：

1. **私に批判する資格はない。**このような手段を使うことを「批判すること」だと解釈してしまいがちですが、どうか批判しないでください。この評価の目的は、内省を促し、議論を奨励し、変化するための戦略を導き出すことです。そして、そのいずれも、一人ひとりが置かれた環境と、個々の変化するペースを心から尊重する中で行われなくてはなりません。
2. **神はそれをご覧になって、良しとされた。**評価する狙いは、否定的な面や欠けている面を単にあぶりだすことではありません。目的は、私たちの多くは善をなす善良な人たちであると認めることなのです。でも、善良な人々と働いて、さらに良くしていく余地は常にあります。それこそが目標なのです。

このスタディガイドの内容：

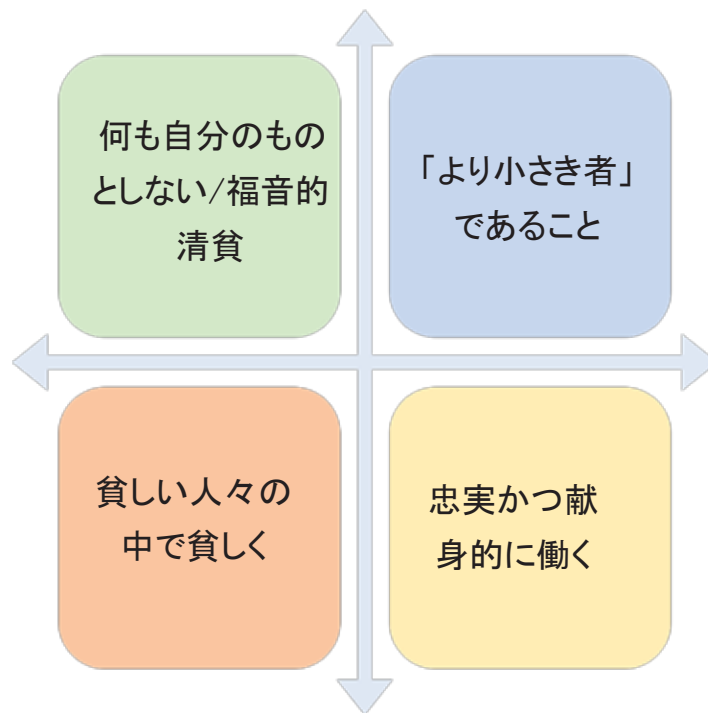
このガイドには以下のものが含まれます：

- 個人で読み、深く考えるためのテキスト。テキストは「4つの項目」に分かれています。
- 個人または共同体（修道院会議、委員会、理事会、管区・分管区）で使える自己評価表。評価には二つあって、意識度評価と実行度評価に分かれています。

四段階評価：

1. 「より小さき者」であることへの理解度を示す意識の強さを評価する。
2. 「より小さき者」であることを表現する個人の生活（または、集団生活）における実行度を評価する。
3. 意識度と実行度を比較し、「より小さき者」としての生活をもっと徹底させるためのアクションプランを作る。
4. そのプランを毎年見直し、再考する。

この評価に用いる四つの項目



項目「より小さき者」であることが問うているのは、対人関係、立場、所有などに関して、自分が普段どのようなアプローチをしているか（感情、態度、思考、価値観）です。

項目「福音的清貧」が主として問うているのは、神との関係であり、その関係がどのようにしてもたらされ、強められ、維持されているかを評価することです。

項目「貧しい人々の中で貧しく」が問うているのは、自分の価値観がどのように外面的に表されているかです。たとえば、世間に対する自分のスタンスに沿った選択になっているか、自己表現の手段となっているか。

項目「忠実かつ献身的に働く」が問うているのは、自分の身を養うために積極的にやっていることです。

1. 「より小さき者」であること

個人として

1. 以下のテキストに照らして考えなさい。自分にとって「より小さき者」であるとは、どういう意味か。
2. 自分の生活に、「より小さき者」に矛盾する態度があることを認識しているだろうか。
3. 自分を「より小さき者」とする態度とは、具体的にどのようなものか。

兄弟共同体として

人となられた神の御子のご生活に従い、より小さくある (minority) ためには、何よりもまず、質素で地味なライフスタイルで暮らし、謙遜で、穏やかで、慈しみ深く、人に仕えようとする心構えを持つことです。

1. 日常生活、人間関係、他者への奉仕において、あなたやあなたの兄弟共同体が持っている心構えやライフスタイルは、そのようになっていると思いますか？なっていると思うにせよ、なっていないと思うにせよ、そう思う理由を三つ述べなさい。
2. それは具体的にどういうことになりますか？

1 チェラノ 38

まさに、会則の中で次のように記しています。「彼らは小さい兄弟でなければならない」。この言葉が語られた、まさしくその時、同じように言っています、「この兄弟共同体が小さき兄弟会と呼ばれることをわたしは望んでいます」。

すべての人に服従するという点で、彼らは真に小さい者らであり、いつも軽視される地位と、不当とも思われかねない役務を果たすよう努めていました。それによって、真の謙遜という固い土台に立つにふさわしい者となり、摂理に恵まれ、あらゆる徳から成る霊的な建物が彼らのうちに建てられたのでした。

2 チェラノ 148

祝されたフランシスコは司教の前に身を屈めて言いました。「陛下、わたしの兄弟たちは、自分たちが偉くなったと思われることのないように、より小さな者たちと呼ばれているのです。この召命が、低い所に身を置き、**キリストの謙遜のみ跡に従うこと**を教えています。これが遂には**聖人たちの前で**他の人々よりも高く挙げられることになるのです。**神の教会**において**実を結ぶ**ことをお望みでしたなら、彼らの

召命による地位に彼らを置き、そこに留まらせてください。それを望まない者らがいれば、低い所に戻らせてください。ですから、お願い申し上げます。父上。貧しい者らであることよりも高い地位にある者になることのないように、他の人々を見下すことがないように、彼らが高位の聖職に昇ることを決してお許しにならないでください」。

会憲第 64 条

「死にいたるまで、へりくだって従う者となった」イエス・キリストに倣う者として、また、小さき兄弟となる自己の召命に忠実な者として、兄弟たちは「喜びと朗らかさをもって」すべての人のしもべおよび臣下、平和を愛する心の謙遜な者として世の中を巡る。

第一会則 6:3

また誰であっても修道院長(プリオール)と呼ばれてはならない。みなは総じて小さき兄弟たちと呼ばれねばならない。

第一会則 9:1-4

¹兄弟たちはみな、わたしたちの主イエス・キリストの遜りと貧しさに従うように力を尽くし、食べる物と着る物があれば、それで満足すべきです、と使徒[パウロ]が言うように、この世のいかなる所でも、ほかのいかなるものも所持すべきではないことを覚えておかねばならない。²何の取り柄もなく、軽んじられている人々の間に、貧しく、体の不自由な人々、病を患っている人々、レプラを患っている人々の間で、道端で物乞いする人々の間で生活する時、喜ばなければならない。³そして、必要な時には、施しを乞いに出なければならない。⁴それを恥じることなく、むしろ、全能の生ける神の御子であるわたしたちの主イエス・キリストがそのみ顔をひどく固い石のようにされ、恥ずかしいとは思われなかったことを思い出さなければならない。

会憲第 66 条

(1) 救い主がご自分を無とされたことをより忠実に模倣し、より輝かしく示すために、兄弟たちは、社会においては取るに足りないと言われる人々の生活と境遇を受け入れ、常に彼らの間で、小さき者として生きる。この社会的境遇から兄弟たちは神の国の到来のため働く

第二会則 3:10-12

¹⁰わたしは主イエス・キリストにおいて忠告し、戒め、勧める。兄弟たちは世間でた時、争ったり、口論したり、他人を裁いたりしないように。¹¹かえって[兄弟たちは]、柔和で、平和を愛し、慎み深く、温和、謙遜であり、すべての人に対して、

礼儀正しい言葉を用いて話すように。¹² また、明白な必要や病気のためにやむを得ない場合を除いて、馬に乗ってはならない。

会憲第 66 条

(2) 兄弟たちはその生き方として、兄弟共同体としても個人としても、誰をも、とりわけ通常は社会的、霊的に見捨てられている人々を、拒むことのないようにする。

会憲第 67 条

兄弟たちは、常に自分を捨て、神への絶えざる回心において、まず自分の生き方を変えることによって、現代の「偽りの価値観」を非とする預言者的姿を明らかに示す。

会憲第 91 条

小ささの特権以外に、兄弟たちは自分自身や兄弟共同体のために、いささかも特権を求めたり受けたりしてはならない⁵。聖フランシスコの言によれば、兄弟たちは、自分たちの召命に固有である小さき者としての身分にとどまる限り、神の教会に実りをもたらすからである⁶。

訓戒 12

神のしもべが主の霊を持っているかどうかを、次のようにして知ることができます。主がそのしもべを用いて何らかの善をなさったとき、彼の肉がそれを誇らず、一というのは、肉はあらゆる善に逆らうものだからです。一かえって、彼の目に、自分がますますつまらない者に映り、他のすべての人より小さい者と思うなら、主の霊をもっています。

すべての[キリスト]信者への手紙 2:42-43

ところで、従順[の名によって命じること]を託された者、そしてより大きなものとみなされている人は、より小さなものようになり、ほかの兄弟たちの僕(しもべ)となりますように。似た者同士である場合には、それぞれの兄弟の一人ひとりに憐れみをかけ、自分にして欲しいと思うことを行ないますように。

会憲第 65 条

兄弟たちは、「人は 神の御前にあるだけの者であって、それ以上のものではない」ことを自覚しつつ、神こそ最高、唯一の善であることを認め、常に、すべてにおい

⁵ 遺言 25-26 参照。

⁶ 2 チェラノ 148; ベルギーの伝記 115 参照。

て神を喜ばせるよう努力し、自分が無価値で、愚直で、軽んずべき者とみなされることを、平然と受けとめる。

II. 何も自分のものとしなさい/福音的清貧

個人として

1. 日常生活で福音的清貧の実践に着手するには、どうすればよいか。
2. 自分が、家や場所や使途職、人々を自分のものにしてしまうことがあることに気づいているか。
3. ものの使用や入手を決めなければならないとき、必要性和欲望の見分け方を知っているか。

共同体として

1. 消費主義が支配的な社会で、私たちは現代の人々に生き方の選択肢として、説得力のある預言的なライフスタイルを、小さき者として身をもって示しているだろうか。

示していると思うにせよ、示していないと思うにせよ、そう思う理由を三つ述べなさい。

2. 財貨の管理は、あなた自身、あなたの兄弟共同体、管区によって適切に透明性をもってなされていると思いますか。

なされていると思うにせよ、なされていないと思うにせよ、そう思う理由を三つ述べなさい。それは具体的にどういうことになりますか。

第二会則 1:1

小さき兄弟たちの会則と生活はこれである。つまり、わたしたちの主イエス・キリストの聖福音を遵守し、従順のうちに、何も自分のものとせず、貞潔に生きることである。

第二会則 6

兄弟たちは、家、土地、その他いかなるものも、何一つとして自分のものにしてはならない。むしろ現世においては、旅人、寄留者として清貧と謙遜のうちに主に仕え、信頼をもって施しを求め、これを恥じてはならない。主がわたしたちのために、現世において貧しい者となられたからである。これこそ、いと愛する兄弟のあなたがたを天の国の相続者ならびに王の地位につかせた、いと高き清貧の頂きである。これは、あなたがたを物においては貧しい者としたが、徳において高めたのである。これをあなたがたの「分け前」としなさい。これがあなたがたを「生ける人々の国」に導くのである。いと愛する兄弟たち、この清貧に全く身をゆだね、これ以外のいかなるもの

も、主イエス・キリストの御名のために、天（あめ）の下において持つことを永遠に望んではない。

そして兄弟たちは どこにいても、またどこで出会っても、互いに同じ家族の者であることを示し、一人は他の一人に自分の必要をためらうことなく打ち明けるべきである。まことに、母がその肉親の子を養い愛するとすれば、兄弟たちは、どれほど心をこめてその霊的兄弟を愛し、養わなければならないであろうか。また、兄弟たちのだれかが病気にかかることがあれば、他の兄弟たちは、自分がしてもらいたいと思うとおりに、病気の兄弟に尽くさなければならない。

遺言 16

また、この生活を受け入れるために来た人々は、「所有することのできたすべて」を貧しい人に与えて、裏と表を繕った一着の上衣と帯とズボンがあれば、満足していました。

会憲第 8 条

（1）清貧の誓願によって小さき兄弟たちは、「わたしたちのためにこの世で貧しい者となられた」⁷ イエス・キリストに倣い、管区長と修道院長の 許可なしに財貨を使用し、処分する権利を放棄する。また荘厳誓願を立てた後は、所有権をも放棄する。こうして兄弟たちは謙遜なしもべとして天の御父の摂理に自分をゆだねる⁸。

（2）兄弟たちは、最高の清貧がキリストとその貧しき御母に由来することを思い起こし、「帰って、あなたの持ち物を売り、貧しい人々に施しなさい」⁹ という福音のことばを銘記して、貧しい人々と境遇を共にするよう努める。

（3）小さき兄弟たちの清貧の生活は、物の使用において管区長や修道院長に全面的に従うだけでは充分ではない。物心両面において貧しくなり、勤労と節制の生活を送る必要がある¹⁰。また兄弟たちはキリストの模範にならって、「軽んじられ、さげすまれている人々、貧しい人々、弱い立場にある人々、病気の人、ハンセン病患者、道端で物乞いをする人々と交わるとき」¹¹、それを喜びとし、こういう生き方を個人としても共同体としても、また新たな方法を用いてでも、はっきりと表明する。

会憲第 72 条

（1）この世にあっては旅人、寄留の身である兄弟たちは、個人としての所有を放棄し、会則に従って、家も、土地も、他のいかなるものも、自分のものにしてはならない。それゆえ自分自身と、生活および活動のために使うすべての物を、貧しさとへ

⁷ 第一会則 6:3。

⁸ CIC 600 参照。

⁹ ルカ 18:22。

¹⁰ キリスト信者への手紙二 47, CIC 600。

¹¹ 第一会則 9:2。

りくだりをもって、教会と世界への奉仕のために役立てる。

（２）兄弟たちのために建てられる建物、および兄弟たちが自分たちのために購入したり、使用したりする物は、その地域と時代の状況に応じて、清貧にふさわしいものでなければならない。

（３）兄弟たちの使用に任された財貨は、管区規則の正当な配分に従って、貧しい人々のために分かち合う。

III. 貧しい人々の中で貧しく

個人として

1. 貧しい人々のために語り、祈るとき、彼らを実感しているか。
2. 自分は貧しい人々の間で、彼らとともに生きようとしているか。

兄弟共同体として

「より小さき者」として、私たちの生活と仕事は、社会の最も貧しい人々に近いことを示すものでなくてはなりません。

1. あなた自身およびあなたの兄弟共同体のライフスタイルや意見は、貧しい人々への近さと憐みを示している、そして、正義と平和に真剣に取り組んでいることを伝えていると思いますか。そう思うにせよ、思わないにせよ、その理由を三つ挙げることができますか。
2. それは具体的にどういうことになりますか。

第一会則 9:2

何の取り柄もなく、軽んじられている人々の間に、貧しく、体の不自由な人々、病を患っている人々、レプラを患っている人々の間で、道端で物乞いする人々の間で生活する時、喜ばなければならない。

遺言 1-3

¹主は、わたし兄弟フランシスコに、次のようにして悔い改め〈の生活〉を始める〈恵みを〉与えてくださいました。わたしがまだ罪の中にいたころ、レプラを患っている人々を見ることは、あまりにも耐え難く思われました。²そこで、主が御自らわたしを彼らのうちに導いてくださいましたので、わたしは彼らに対して慈しみの思いを抱きました。³そして、彼らのもとを去ったとき、以前のわたしには辛く思われたことが、精神と体にとって甘味なものに変えられていました。こうして、その後しばらくして、わたしは世俗を出ました。

大伝記 8:5

肉体上の苦痛をかかえて苦しんでいる人に対して、驚くほどの優しさをもってその苦しみを共にしていましたので、誰かが何かに欠乏していたり何かを必要としたりしているのに気づくと、その敬虔な心のもつ優しさからキリストに訴えるのでした。実際、[フランシスコには]慈しみの心が生まれながら備わっていましたが、上から注がれたキリストの愛情によって、それは倍加されていたのでした。それ故、貧しい人々

や弱っている人々を見ると、彼の靈魂は溶けてしまい、助けの手を差し伸べられない人々に対しては、その熱い思いをさし示したのです。

あるときのこと、兄弟の一人が、都合の悪いときに施しを求めにきた貧しい人に対して厳しく応対したことがありました。敬虔な心で貧しい人々を愛する人[フランシスコ]はこれを聞くと、着物を脱いで裸になって、その貧しい人の足もとにひれ伏し、自分の過ちを告白し、祈りと赦しを請い求めるように、その兄弟に命じました。彼が謙遜にそれを実行すると、師父はやさしく言い添えたのです。「兄弟よ、あなたが貧しい人を目にすると、主と、主の貧しい御母の姿があなたの眼前に置かれているのです。同じように、弱っている人々のうちに、[主がご自分のものとして]受け取られたさまざまな弱さを考えるようにしなさい。」

最もキリスト的であったこの貧者[フランシスコ]は、すべての貧しい人のうちにキリストの似姿を見ていたのです。ですから、出会った貧しい人々に、自分に与えられた生活必需品さえも惜しまずに与えるだけでなく、彼ら自身の所有物であるかのように彼らに返さなければならないと考えていたのです。

あるときのこと、一人の貧しい人がシエナから帰る[フランシスコ]に出会いました。そのとき[フランシスコ]は病気でしたので、会服の上に短いマントを着ていました。その人の哀れな姿が彼の慈しみ溢れる目にとまると、同行の兄弟に言いました、「わたしたちは、この貧しい人にこのマントを返さなければなりません。なぜなら、これはこの人のものだからです。わたしたちよりももっと貧しい人を見つけるまで、わたしたちはそれを借り物として持っていただけなのです。」ところが、敬愛する師父にとってそれが必要であると考えた同行の兄弟は、頑固にそれに抵抗しました。[フランシスコが]他の人のことを慮って、自分のことをなおざりにするのを恐れたためでした。すると、[フランシスコは]言いました、「自分の持っている物を、わたしよりももっと必要としている人に与えないとしたら、偉大な施し主は、わたしを窃盗の罪で咎めるでしょう。」

それ故、肉体の必要を満たすために与えられたすべてのものに関して、自分よりもそれを必要とする人と出会ったなら、それを与える許可を施し主に求めるのが常でした。

マントにしても、トゥニカにしても、書物にしても、さらには祭壇の装備品でさえも、何一つ物惜しみすることはありませんでした。それが可能であれば、敬虔の念からくる義務を果たすためであれば、それを必要とする人々にあらゆるものを与えてしまいました。

道で重い荷物を担いでいる貧しい人に出会うと、[フランシスコは]しばしば、衰弱したその肩に、その荷物を担うのでした。

会憲第 82 条

(1) すべての兄弟は金銭を、「神のしもべ、また、いと聖なる清貧の追求者にふさわしく」、貧しい者にあったやり方で、また、兄弟共同体への連帯責任において使う。

（２）金銭の使用に関して、兄弟たちは管区長および修道院長たちに完全に従属するものであり、使う許可を求めるだけではなく、収支を誠実に報告する。

（３）兄弟たち、とりわけ管区長および修道院長たちは、貧しい人々の必要を常に念頭に置いて、どのような蓄財をも注意深く避ける。

IV. 忠実かつ献身的に働く

個人として

1. 自分は、私たちの生活の中で働くことが重要だと考えているだろうか。
2. これまで働くことで得た重要な経験とは何だろうか。
3. 自分は所属する兄弟共同体の中で、自らすすんで家事を引き受けているだろうか。

兄弟共同体として

働くことは、「より小さき者」であることを示すしるしです。すべての兄弟は、それぞれの状況に応じて、単純な仕事を優先して、働くべきです。兄弟共同体は原則として働くことにより支えられるということを忘れてはなりません。

1. あなたがやっている仕事およびあなたの兄弟共同体が担っている仕事は、私たちの霊性とアイデンティティーに適っていると思いますか。適っていると思うにせよ、思わないにせよ、その理由を三つ挙げることができますか。
2. それは具体的にどういうことになりますか。

第一会則 7:1-2

兄弟たちはみな、奉仕のため、あるいは労働のために、いかなる所に滞在しようとも、財務管理職や監督官の任に就いてはならず、奉仕する人々の家において支配するものとなってはならず、躓きをもたらすような、あるいは自分の魂を損なうようないかなる役務も引き受けてはならない。むしろ、同じ家にいる誰よりも小さいもの、すべての人に服従するものでありなさい。

第二会則 5

主が働く恵みをお与えになった兄弟たちは、忠実かつ献身的に働いて、霊魂の敵である怠慢を避け、聖なる祈りと献身の心を消さないようにしなければならない。現世のあらゆる物事はこれに従属すべきだからである。ただし、働きの報いとしては、自分と兄弟たちのために、金銭（銀貨や銅貨）以外の体に必要なものを受ける。しかもこれを、神のしもべ、また、いと聖なる清貧の追求者にふさわしく、謙遜に受けなければならない。

遺言 20-21

わたしはまた、自分の手で働きました。そして今も働くことを望みます。他のすべての兄弟もふさわしい労働に従事するよう、切に望みます。働くことを知らない人は、

それを学びなさい。しかし、これは働きの報酬を受ける欲望のためではなく、模範を示し、怠慢を避けるためです。

1 チェラノ 39

昼間は、働く方法を知っている兄弟は手仕事をしたり、レプラを患っている人たちの住んでいる所あるいは他の適当な場所に留まったり、謙遜にまた敬虔にみなに奉仕ししたりしていました。人の躓きとなるような場所では、いかなる仕事に就くことも望まず、つねに聖なる、正しく、有益でふさわしい仕事をしながら、彼らを謙遜と忍耐の模範として集まって来る人たちみなと共に生活していました。

2 チェラノ 161

どんな仕事にも熱心に取り組もうとしない生ぬるい者たちは、たちまちのうちに、主の口から吐き出されるはずであると言っていました。怠惰な者は誰も[師父]の前に居続けることはできませんでした。鋭い批判によって罵られたからです。すべての完全性の模範として[師父]自身は労働し、自らの手で働き、時間という最高の賜物が無為に流れるのが許せませんでした。

あるとき、言いました。「わたしの兄弟たちがみな働き、鍛錬することを望みます。それを知らない人々は何らかの技術を身につけなさい」。理由に言及して言いました。

「それは人々の重荷にあまりならないためと、怠惰のために心や舌が、許されないものへと流されないようにするためです」。しかしながら、仕事からの利益とか報酬は働いた人の判断ではなく、管理の任にある[兄弟]もしくは[修道]家族の判断に委ねたのでした。

会憲第 76 条

(1) 聖フランシスコの精神と模範に導かれた真に貧しい者として、兄弟たちは、労働と奉仕を神からの賜物と考える。そして、支配することではなく仕えることを求めるので、誰からも恐れられることのない小さき者として自分を示す。

(2) 労働こそが必要なものを得るための通常で主要な手段であることを認めて、すべての兄弟一人ひとりには、「忠実かつ献身的に働き」、仕え、怠慢を「靈魂の敵」として斥ける。

会憲第 79 条

(1) 仕事や奉仕を選択するにあたり、修道院および管区の兄弟的な生活から離れることがないように配慮するとともに、各人の能力への配慮が必要である。そして管区規則の定めに従って、仕事を兄弟共同体として引き受け、共同責任において果たされるようにする。

(2) 労働への報酬の中から、兄弟たちは必要なものを受け、しかもこれを謙虚に受け取る。しかし、自己の働きによって獲得したものであれ、本会の仕事で取得した

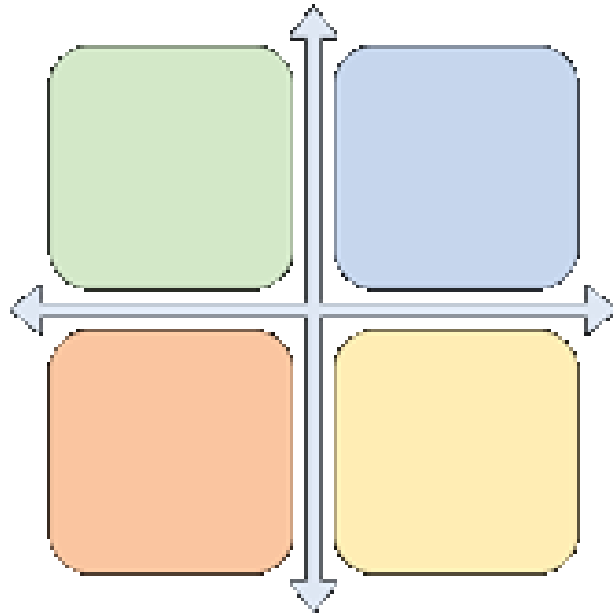
ものであれ、また、年金、補助金または保険金その他、どのようなかたちで支払われるものであれ、すべて兄弟共同体が取得する。

会憲第 80 条

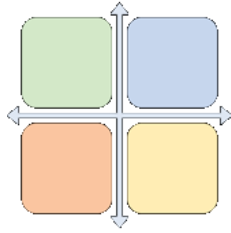
（１）わたしたちの兄弟共同体では、家事は出来るかぎり兄弟たち自身、全員の手で行われる。

（２）他の人々が兄弟共同体のために働く場合は、公正に国家法の規定を守らなければならない。

二つの側面：意識度と実行度

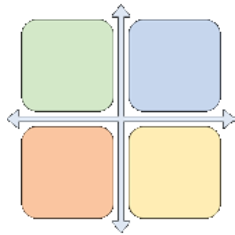


自己評価表



意識度評価

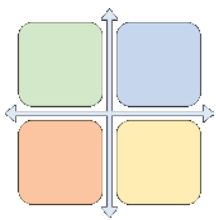
- ☒ そう思う
- ☐ どちらともいえない
- ☒ そう思わない



「より小さき者」であること 今の私たちの場合は？

- ☐ 初期養成および生涯養成は「より小さくあること」（ミノリタス）の視点から行われるべきである。
- ☐ レガシー（遺産）の価値を認めること、歴史的視点を持つことは、新しい未来をつくるために不可欠である。
- ☐ まず考えなければならないのは、投資の種類であり、投資の果実を考えるのは、その後だ。
- ☐ 投資計画には、社会的責任投資の原則が含まれるべきである。
- ☐ 投資計画は、福音的価値観とフランシスカン霊性とに基づくものであるべきだ。
- ☐ 自分がすすんで責任を取ろうとしないことについて、他の人に責任を負わせることはできない。

- フランシスカンの資金管理に透明性は不可欠である。
- 予算を見せてもらえば、その人の価値観と優先順位がわかる。
- 金銭や物をため込むことについて、皆で考え、話し合うべきだ。
- 小さき兄弟として、自分たちの金融取引が不適切だったり、不道德だったり、違法だと思われるようなことが、決してあってはならない。
- 「兄弟たちは、貧しい人にふさわしい金銭の使い方をしなければならない。」現代の貧しい人々を手本にして、自分の清貧をより効果的に、具体的に実践することができる。
- 人々の生活の向上に役立つという観点から、私たちの住んでいる建物や不動産の利用を見直すことは可能である。
- 諸管区間の財政面での連帯をあらゆるレベルで強化することは重要である。
- 会全体として、また、それぞれの管区や兄弟共同体で、兄弟愛と透明性のある経済行動をとれるように、具体的な戦略を立てることは可能である。
- 世界の天然資源を適切に使うことは、福音的でフランシスカンの価値観に即している。

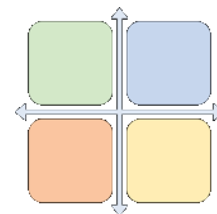


何も自分のものとしなない/福音的清貧 今の私たちの場合は？

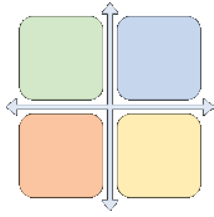
- 旅人として、いつでも応じられるように備え、自分のいるところから馳せ参ずる心構えは、従順を表す最も重要な態度である。
- 祈りにおいて最初にして最も重要なこととは、神との個人的な関係を築くことである。
- 修徳とは、神の現存を高めるために、自分を解き放つ技法である。
- 祈りは言葉でもできるが、耳を傾けることでもある。

- 祈りが本物であるためには、応答が必要である。
- 自分の生活の中で神のみ摂理を受け入れるためには、十字架と贖いが必要である。
- 兄弟は、兄弟共同体という形で守られているので、完全に貧しくはなりえない。
- 個人の価値は、その人の持っているものに勝る。
- 人々こそは、自分の人生に与えられた最大の賜物である。
- 常に現在の状態を超えてその先の可能性を、今持っているものを超えてこれから持てる可能性を見ることが大切である。
- sine proprio（何も持たず）に生きることにより、他者を受け入れ、あたたかく迎える心が生まれる。
- 所有物の放棄（renunciation）は、愛の問題というよりも、むしろ正義の問題である。

貧しい人々の中で貧しく
今の私たちの場合は？



- 見知らぬ人、より小さき人、寄る辺ない人をあたたかく迎えることは大切である。
- 根差すこと、すなわち、貧しく、より小さき人々の生活の中に入っていく能力は、貧しい人々を単に自分の生活に「受け入れる」ことを超える重要な第一歩である。
- 特に「辺境」の地で、新しい生活様式、新しい奉仕の形やあり方を示し、福音のあかしを立てることは大切である。
- 「辺境」の地で、貧困にあえぐ貧しい人々、見落とされている人々、見向きもされない人々に寄り添い、彼らに仕えて暮らす、地域に根差した兄弟共同体をつくることは大切です。



忠実かつ献身的に働く 今の私たちの場合は？

- ☐ 働くことは、自分のアイデンティティーと尊厳のために必要である。
- ☐ している仕事の種類によって、社会への貢献度がある程度分かる。
- ☐ 働く目的は、自己を向上させるためである。
- ☐ 働くことには、自己を向上させることよりももっと高次の目的がある。
- ☐ あらゆる仕事は賜物であり、価値がある。

実行度の評価

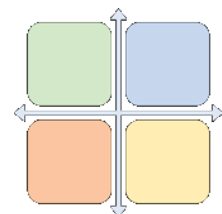
以下に示す「私」は、それぞれの兄弟共同体、管区、分管区、あるいは特定のグループに置き換えることもできる。

☒ 頻繁にしている

☐ 時々している

☒ したことがない

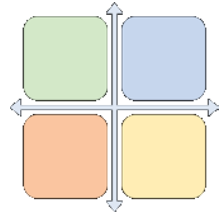
「より小さき者」であること 今の私たちの場合は？



- ☐ 私は自分の生活の中で、平和と和睦を求めている。
- ☐ 私は自分の兄弟共同体の中で、あたたかく迎えられていると感じる。
- ☐ 私は兄弟たちに容易に心を開くことができる。
- ☐ 私は必要以上の物を持っている。クローゼットも部屋もトランクも、長いこと使っていない物でいっぱいだ。
- ☐ 私は環境に配慮する必要があることは承知している。
- ☐ 私は自分が消費している資源に気を配っている。
- ☐ 私は惜しみなく他者に与えるほうだ。なぜなら、それだけのものをもらっていることを知っているのだ。
- ☐ 私は過去のこと、兄弟たちがしてきたこと、私たちのレガシー（遺産）を認め、大切にしている。
- ☐ 私は兄弟共同体の財源がどこからきて、どのように使われているかを知っている。
- ☐ 私は自分の賜物、つまり、個性、才能、スキル、性格、時間、所有物を、兄弟共同体と惜しみなく分かち合っている。
- ☐ 私は資金を社会的目的のために使っている。たとえば、自分の持っているものを自分より少ししか持っていない人と分かち合うなど。
- ☐ 私は備えとして持っている資金が蓄財にあたるのではないかと心配している。
- ☐ 私は財務の透明性というコンセプトを理解しており、財務に携わる時は、透明性を守っている。
- ☐ 私は自分の銀行口座を持っている。
- ☐ 財務管理に関しては、私は倫理的かつ合法的に行動している。

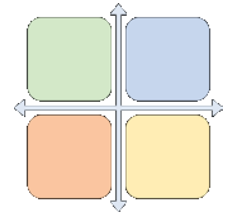
何も自分のものとしなない/福音的清貧

今の私たちの場合は？



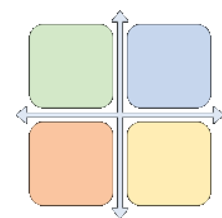
- ☐ 私は兄弟共同体から使徒職や住居を変えるように言われたら、いつでも受け入れる用意がある。
- ☐ 私は違和感なく観想的な祈りをしている。
- ☐ 私は自分が暮らしている兄弟共同体とともに祈っている。
- ☐ 私は一人で祈るために時間をつくっている。
- ☐ 私は普遍の教会とともに祈っている。
- ☐ 私は神の御摂理に導かれながら暮らしている。
- ☐ 私はフランシスカンのテーマである御托身、ご聖体、贖いを自分の祈りに取り入れている。
- ☐ 私はご聖体を儀式としてだけでなく、自分の生活の源泉として、また頂点としてお祝いしている。
- ☐ 私は十字架と贖いの体験を生活の中でしている。
- ☐ 私は兄弟共同体から離れている時間よりも、兄弟たちと一緒に過ごす時間を大切にしている。
- ☐ 私は兄弟たちを賜物としていただいたことを認め、感謝している。
- ☐ 兄弟共同体にいと、私は sine proprio（何も持たず）に生きる力をもらえる。
- ☐ 私は兄弟共同体を自分の生活の中で積極的な価値あるものと考えている。
- ☐ 私は愛されていると感じる。

貧しい人々の中で貧しく 今の私たちの場合は？



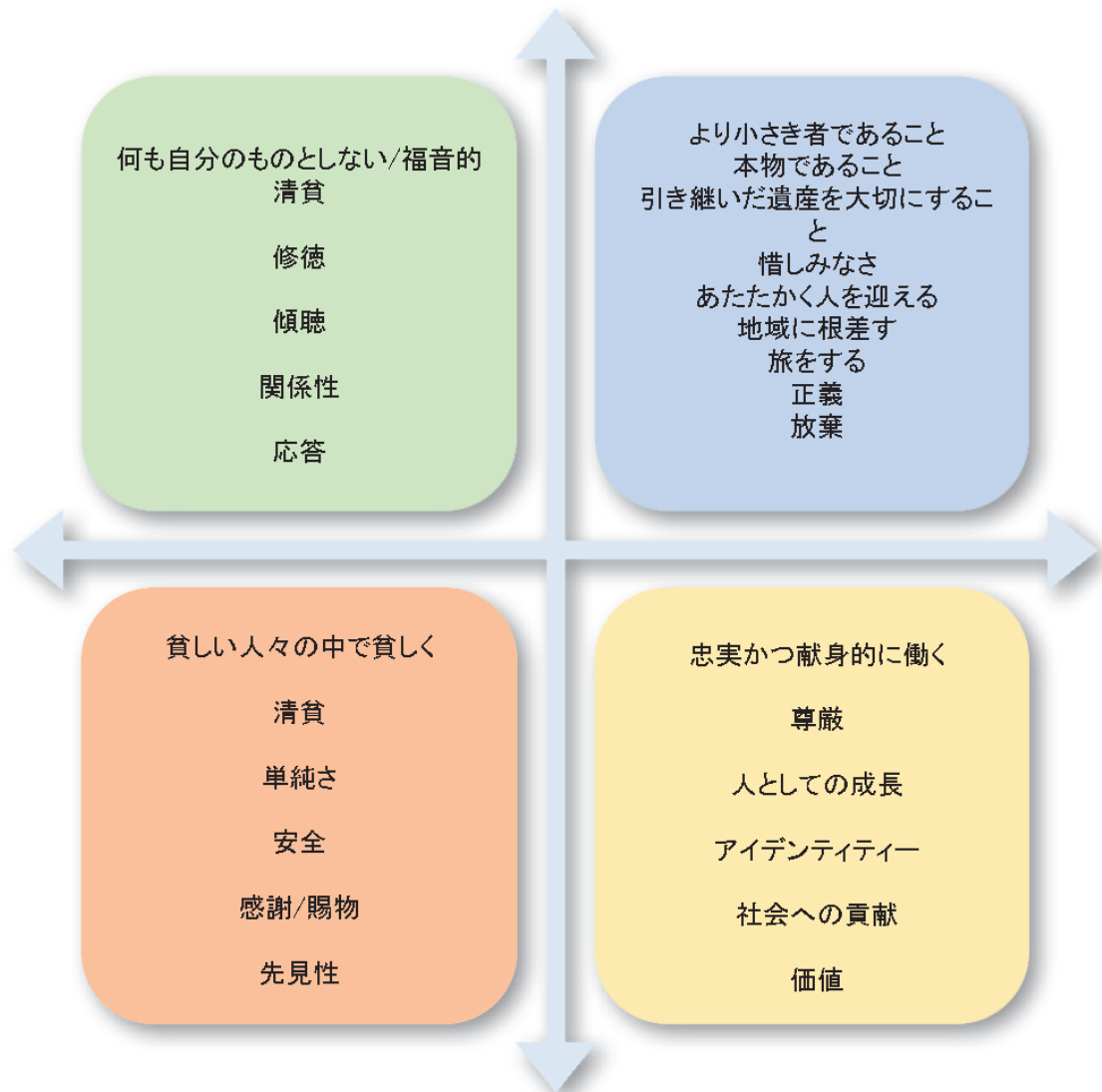
- ☐ 私は経済的に貧しい人々の中で暮らしている。
- ☐ 私は自分の持っているものが少しであっても、困っている人々と惜しみなく分かち合っている。
- ☐ 私は自分の兄弟共同体が必要以上にものを持っていると思う。たとえば、土地、建物、資金など。
- ☐ 私は解放を促進するような社会運動に参加している。
- ☐ 私は人権を求め、人間性の問題を解決しようとする活動に携わっている。
- ☐ 私は自分の住んでいるところに「ハンセン病者に匹敵するような人たち」を見かける。
- ☐ 私は自分の周囲の「ハンセン病者に匹敵するような人たち」と触れ合っている。
- ☐ 祈る時、私は自分が感謝に満たされているを感じる。

忠実かつ献身的に働く 今の私たちの場合は？



- ☐ 私は貧しい人々と一緒に働いている。
- ☐ 私は貧しい人々のために働き、彼らに仕えている。
- ☐ 私は自分の仕事を神の国を築きあげる賜物と考えている。
- ☐ 私が今やっている福音宣教の使徒職は、たまたま巡り合ったものだ。

自己評価表



貧しく、より小さい者たち：今のわたしたちの
場合は？－貧しくより小さい者としてわたしたちの生
活を見直すためのガイドライン

2017年2月20日
106-0032
東京都港区六本木4-2-39
フランシスコ会日本管区
03-3403-8088
<http://www.ofm-j.or.jp/>

この冊子は以下からダウンロード出来ます。

<http://www.ofm-j.or.jp/doc/PoorAndLesserOnes.pdf>

